

『ホリスティック教育/ケア研究』総目次（第21号～第25号）

<第21号 2018年>

■ 巻頭言

教育とケアのホリスティックな出会い—包摂、対話、同源— 吉田敦彦

■ 報告

日本ホリスティック教育/ケア学会 創設大会報告 池田華子・孫美幸

■ 論文

サティシュ・クマールのホリスティック思想とは何か
—その理念形成の背景をふまえて— 小森伸一

障がいを持つパートナーとの家庭生活における関係性の発達と変遷
—ある夫婦の家庭生活の回想から— 平沢直樹

■ 書評

『新たな時代の ESD サステイナブルな学校を創ろう
—世界のホールスクールから学ぶ—』 吉田敦彦

『「看護人間学」を拓く—ナイチンゲール看護論を再考して—』 西村拓生

『社会問題としての教育問題
—自由と平等の矛盾を友愛で解く社会・教育論—』 井藤元

『日本のシュタイナー学校が始まった日』 河野桃子

『対話がつむぐホリスティックな教育—変容をもたらす多様な実践—』 岩瀬直樹

書評詩の試み 日韓の「境界」において書き綴られた多文化共生とその暮らし
—孫美幸の著書2冊を読む— 寺澤満春／成田喜一郎

■ 研究動向

第2回 ホリスティック・ティーチング&ラーニング国際会議
(南オレゴン大学) 報告 野沢綾子

<第22号 2019年>

■ 報告

第2回研究大会報告 今ここからホリスティック教育/ケアの可能性を探る
—自由学園シンポジウムに寄せて—
成田喜一郎・高橋和也・曾我幸代・河野桃子・吉田敦彦

■ 論文

- 学習の横断線—ジル・ドゥルーズの全体性の思想— 松枝拓生
つながりを生む「沈黙」—日舞の型をケアへ— 坂東和治・坂東光有
「弱さ」への「共苦」に根ざす教育に向けた一考察
——ヴェイユの「不幸」論を手がかりに 池田華子
形成的アセスメント論におけるクライテリアの今日的意義
—「深い ESD」の実現に向けて— 西塚孝平・有本昌弘
フォルメン線描とマインドフルネス—脳波測定を通じた分析—
山下恭平・井藤元・徳永英司
おむつ交換を通じた保育士の保育観の変容
—保育士と乳児の応答関係に着目して— 神谷良恵

■ 実践報告

- ケアリングの視点を取り入れた多文化共生教育
——学びの環境が厳しい子どもたちとともに 孫美幸

■ 書評

- 『ケアの根源を求めて』 守屋治代
『社会変容をめざす ESD——ケアを通じた自己変容をもとに』 成田喜一郎
『シュタイナー教育思想の再構築——その学問としての妥当性を問う』 河野桃子
『実践と理論を架橋・往還する「珠玉」のコンテンツ/スキルへの誘い
子どもと教師の学びの拡張と深化をもたらす』 孫美幸

■ 研究動向

- ジョン・ミラー『ホール・チャイルド教育』と『愛と慈悲』
その他未紹介著作について 中川吉晴

<第 23 号 2020 年>

■ 報告

- 第 3 回研究大会報告 いのちの多様性をケアするということ
——生きる意味の地平から教育/ケアを考える— 皆藤章・孫美幸・青木芳恵

■ 論文

- 济州島の民話における「異人」たち
——韓国社会における多文化教育をより深化させるために— 孫美幸

異なる教育観をつなぐホリスティックな対話的手法の検討

—シナジーを生み出すアクティヴ・インタビューの可能性— 津山直樹・福若真人

ホリスティックな知がもたらす道徳的発達の可能性

—R.シュタイナーによる

「一体となって知ること (Sich-Einswissen)」を手がかりに— 河野桃子
デジタルペンタブレットを用いてぬらし絵は可能か

—ぬらし絵実践時の脳波測定—

山下恭平・井藤元・徳永英司

幼児教育と持続可能な社会の構築—二人称的アプローチを手がかりに— 木戸啓絵

■ 研究ノート

「アガペ」の構想力—道徳性を養う学習への一視角— 門前斐紀

Education to Transform Caste-based Values and Practices in Nepal:

Focusing on Holistic Care for Village People BISHW AKARMA Lila Bahadur

幼児の造形活動における素材との対話—沈黙することの意味— 大屋理香

■ 実践報告

持続可能な開発につながる社会関与型のアートプロジェクト

金田卓也・リラ・バハドゥール・ビシュワカルマ

■ 書評

『木村素衛「表現愛」の人間学——「表現」「形成」「作ること」の身体論』 田口玄一郎

『シリーズ人間科学3 感じる』 松永幸子

『ベイトソンから芭蕉へ—変容する学習と生成する言葉—』 竹村景生

『社会科における多文化教育 多様性・社会正義・公正を学ぶ』 奥野アオイ

<第24号 2021年>

■ 巻頭言にかえて

深層からの「崩壊露呈」ともう一つの深層からの「覚醒開眼」との狭間に立つ

—学びの「創発 (emergence)」への気づき: Holistic Education/Care 2020—

成田喜一郎

■ 論文

臨床教育学における対話主義の可能性と課題

—複数の〈視点〉か複数の〈声〉か—

池田華子

「隔たり」の解釈学—リクルールの思想の深層へ—

朝岡翔

■ 研究ノート

フォルメン線描と写仏実践時の脳波測定

—プロの画家と非熟達者の比較—

山下恭平・井藤元・徳永英司

■ 報告

2020 年度公開研究会報告

「対話シート」を用いた振り返りワークショップ

河野桃子・孫美幸・高野慎太郎・津山直樹

木戸啓絵・大山博幸・池田華子・福若真人

2020 年度公開研究会報告

「ホリスティック教育/ケア」の理論的枠組みとしての二軸直交モデル

——「教育のオルタナティブ」の観点から

吉田敦彦

■ 書評

『世界が変わる学び

—ホリスティック / シュタイナー / オルタナティブ—』

福若真人

『無心のケア』

中島小乃美

『シュタイナー教育 100 年—80 か国の人々を魅了する教育の宝庫—』

有川優子

『国際バカロレア教育と教員養成 未来をつくる教師教育』

菊地恵美子

『人生の意味を問う教室 知性的な信仰あるいは不信仰のための教育』

池田華子

■ 海外研究動向

ホリスティック教育関連図書紹介 『The Integrative Mind』

奥本陽子

<第 25 号 2022 年>

■ 報告

第 4 回 (2021 年度) 研究大会報告

シンポジウム: ESD の深さの次元と広がり of 地平

—いま、ホリスティック教育に期待するもの—

曾我幸代

ESD の来し方行く末—ホリスティック・アプローチへのさらなる期待—

永田佳之

今、ホリスティック・アプローチに期待すること

—持続可能性にむけた教育を通しての—考察—

小澤紀美子

「人間と自然との関わり」と「文化」から問う持続可能な開発

山西優二

ESD の深さの次元と広がり of 地平——ホリスティック教育の観点から

吉田敦彦

■ 論文

ESD の視点に基づく保育者の価値観の再発見 中村聖子

シユタイナー教育において楽器演奏が演奏者と聴き手にもたらす効果
—脳波測定を通じた分析— 山下恭平・井藤元

■ 研究ノート

Discovering New Meaning in Kami Craftsmanship in Nepali Culture:

Exploring the Hidden Value of Manual Work from a Holistic Perspective

BISHWAKARMA Lila Bahadur

■ 書評

中川吉晴『ホリスティック教育講義』 小室弘毅

孫 美幸『深化する多文化共生教育—ホリスティックな学びを創る—』 山西優二

井藤 元『シユタイナー学校の道德教育』 今井重孝

■ 海外研究動向

国際交流委員会より 中川吉晴・野沢綾子

■ 研究活動報告

ライフヒストリーデザイン曼荼羅への旅はいかに紡がれてゆくのか

—未来から現在・過去へとさかのぼり、今ここに舞い戻る—

成田喜一郎／寺澤満春

「読みあう森」動向報告 津山直樹・金田卓也・河野桃子